

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら筑後大川第二教室

保護者等数（児童数） 16 回収数 13 割合 85 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	2			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	6			
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	1			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	6			
保 護 者 へ の 説 明	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13			・毎回その日の活動の様子を知らせていただいています。助かります。	・今後も引き続き活動の様子をお伝えしてまいります。家庭での状況も踏まえ、支援内容を考えさせていただきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5	1		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	4			

等	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1		・デイロボの活用待っています。 ・令和6年4月より第二教室もデイロボに完全移行する予定です。よろしく願いいたします。
	14	個人情報に十分注意しているか	12	1		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	7		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	7	1	・行っているか知りません。 ・避難訓練は年に2回程度行っております。令和6年度も開催する予定です。月間の活動プログラムをご確認いただきたいと思います。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1		・楽しみに通っていただき感謝申し上げます。今後もお子様の魅力のある教室を目指して努力していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	11	2		・子どもの発達段階に合わせて見守ったり、プログラムに楽しく参加できるよう工夫されていると思います。 ・個々のレベルや状況、状態にあった支援ができるよう努力してまいります。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら筑後大川第二教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			子どもたちがいるような活動ができるように物を少なくし、広いスペースを確保している。	危険と思われるところや壊れているところなどは順次修繕して危険がない環境をつくる。
	2	職員の配置数は適切である		1	2		今後は増員し、手厚い支援ができるようにする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2		1	広い活動スペースを確保するために物を少なくしている。	危険箇所がないように環境整備を毎月行うようにする。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2		1	目標を設定し、振り返りを毎日行うようにしている。	職員に周知ができていない面があったため、記録を残し、周知徹底できるように努めていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			日頃より保護者の意向を踏まえて常時対応するように心がけている。	業務改善内容の周知徹底がなされていないところがあったため、記録を確認しやすい方法を検討していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			事業所内に掲示し、保護者へ紙面に報告している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	1		外部評価は行ってないが、今後は検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			毎月会議や勉強会を開催し、職員の資質の向上に努めている。	研修内容が固定化しないようにし、個々の利用者に合った最適な支援ができるような研修の機会を設けていきたい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3			常に利用者の状況や状態を把握し、職員間で情報の共有を行っている。その内容やアセスメントをもとに計画内容を立案している。	個別の面談を定期的に行い、その時に合った計画内容を立案し、支援していくようにしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3				アセスメントツールはその時の子どもの状態や保護者の状況によって変化ができるようにしていき、最適な支援ができるようにしていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2		1		プログラム内容が固定化しないように全職員で立案できるように会議を重ねていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	1		小集団のプログラムと個別支援のプログラムを考慮して総合的に支援できる環境を作っている。	プログラムを作成するにあたり、個々の利用者に合った内容になるように職員間で情報の共有を行って考えていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1		平日は習慣化できる内容の支援を中心に個別、小集団、中集団、大集団での活動を考慮して対応し、他は一日を通して活動できるよう内容を設定し、支援している。	個々の利用者に合った最適な支援内容を考案し、個々のレベルアップにアプローチできるような支援を行っていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3			個別、小集団、中集団、大集団と個々の状況やレベルに合わせて支援内容を考案し、支援を行うようにしている。	個々の状況や支援内容を職員間で共有し、細かい支援ができるようにチームでアプローチしていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	2		朝礼を行い、情報の共有をし、当日の支援内容や役割分担を確認するようにしている。	職員間で情報の共有が徹底できていない面があるので、視覚的に共通認識しやすい環境を作り支援できるようにしていきたい。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2		終礼を行い、当日の振り返りを行い情報を共有するようにしている。	情報の共有方法が決まっておらず、周知できていないことがあった。毎日記録しているボードに振り返りの内容を記録し、職員間で情報を共有するようにする。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1			記録はできているが、支援の検証改善が月2回の会議でしか行っていないので。細目に開催し、支援の検証改善につなげていきたい。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3				職員間で振り返りを行い、保護者との面談を経て計画内容の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	1		総合的に支援ができるようにいろいろな組み合わせのもと支援を行っている。		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3					
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	1		保護者を通して学校との情報の共有を行うようにしている。	情報が入手できていない時もあるので、市の連絡会より教育委員会に連携していきたい旨の意見書を出している。事業所としては保護者を中心に学校との情報の共有が円滑にできるように日頃より連絡を密にとるようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	2		受け入れていない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2				相談支援事業所や保護者との連絡を密にとり、情報を共有するようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		1	2		事例がない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1				市の会議にて児童発達支援センターと情報を共有し、支援方法や内容の共有を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1				イベントを開催し、利用児童の兄弟児も含めた活動の機会を年に1回以上開催するようにしている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	1				毎月開催されている協議会へ参加し、市の児童福祉の推進活動等に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	1			送迎時や面談を中心に日頃より連絡を取り合い、子どもの状況や課題を共有するようにしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3				面談を中心に家庭での対応方法を検討し、保護者や子供の困り感を軽減するようにしている。	定期的に個別面談を行ったり、グループでの面談を行い、保護者や子どもの困り感を軽減に努めていきたい。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			契約時に説明を行っている。 また、質問等があった場合はその都度繰り返し説明を行うようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			送迎時や連絡帳にて日頃より連絡を密にとるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1		イベントを開催する際に保護者が集まる時間を設け、保護者同士の顔合わせや連携が図れるようにしている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			日頃より保護者の意向を踏まえて常時対応するよう心がけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			SNS（インスタやアメーバブログ）を活用し、発信するようにしている。	
	35	個人情報に十分注意している	3				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2		1	イベントを開催する時は教室周辺の地域住民に声掛けするようにしている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1			SNSを活用し、周知徹底できるようにしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			年に2回以上は開催するようにしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3				委員会や研修を行っているものの職員の意識改革まではできていない。日頃より職員同士が声掛けを行い、虐待と思われる行為はないようにしていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	1	1	保護者には面談時に必ず確認をするように死している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2		1		月2回開催の会議にてその都度職員間で共有し、繰り返さないよう心がけている。	